



# 第74期 中間報告書

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

- P1 株主の皆様へ
- P3 中間連結財務諸表
- P7 セグメント別経営成績の概要
- P9 株式および株主の状況
- P10 会社概要



ロジン (松脂)

**ハリマ化成グループ株式会社**

証券コード：4410



代表取締役社長 長谷川 吉弘

## 第74期中間期の経営成績について

平素は当社に対し格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2015年4月1日から同年9月30日までの第74期中間期の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

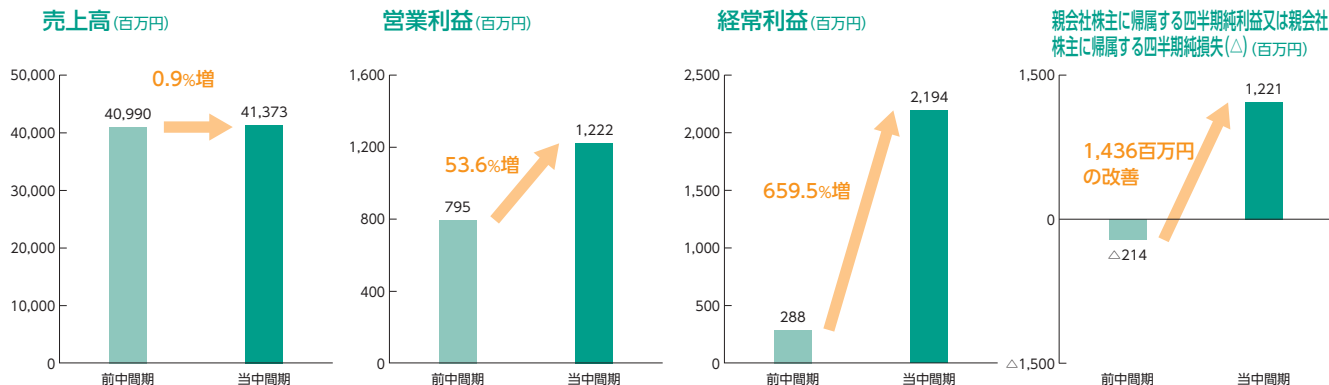
当中間期における世界経済は、米国経済は堅調に推移しましたが、中国経済の下振れリスクが懸念される状況が続きました。一方、日本経済は企業収益や雇用の回復が見られ、設備投資の持ち直しなど、緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、海外事業につきましては、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しい状況で推移しましたが、円安の影響や製紙用薬品事業の米国および中国子会社の業績好調などにより、海外売上高および収益は増加しました。

国内事業につきましては、輸入原料の調達価格が円安により高止まりしたため、製品価格を見直したものの、収益は厳しい状況となりました。

その結果、当社の当中間期の連結業績につきましては、売上高は413億7千3百万円となり、前中間期に比べ3億8千3百万円(0.9%)の増収となりました。

### ■ 中間連結業績



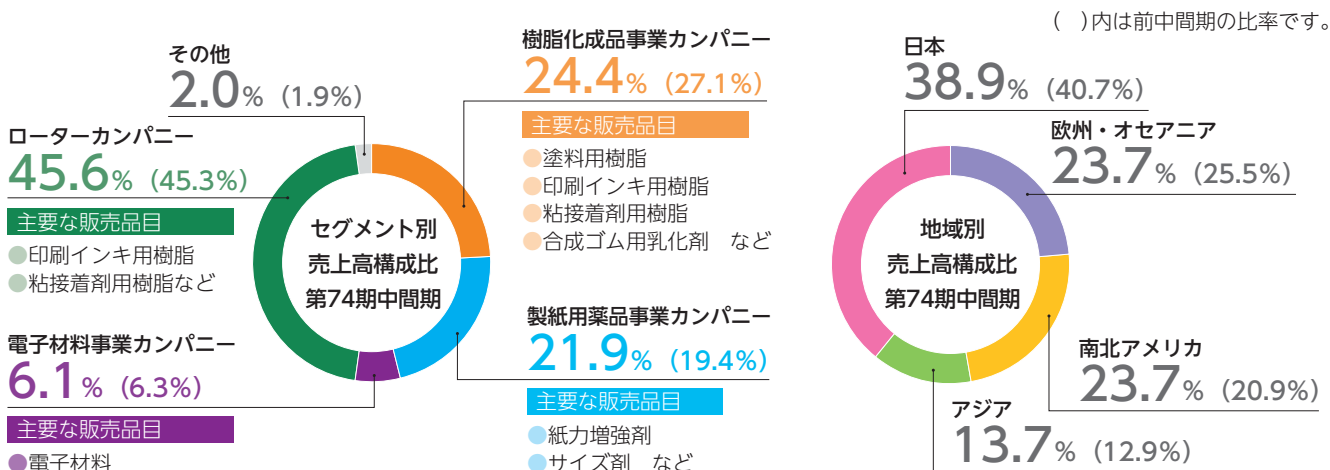
利益面では、営業利益は12億2千2百万円となり、前中間期に比べ4億2千6百万円(53.6%)の増益となりました。非常利益は為替差益8億6千2百万円により、21億9千4百万円となり、前中間期に比べ19億5百万円(659.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億2千1百万円となり、前中間期に比べ14億3千6百万円の増益となりました。

## 今後の動向について

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、中国や新興国などの成長鈍化、原油価格下落の影響など不透明な状況が続いております。日本経済は、円安による輸出環境の改善や政府の経済対策効果への期待などにより、緩やかな回復基調にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては円安による原料の調達価格の高止まりなど、不透明な事業環境が続くことが見込まれます。海外売上高比率が60%を超える当社グループは、グローバルに展開した拠点網を活かし、世界各地域の経営環境や顧客ニーズの変化を的確に捉え、業績回復に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



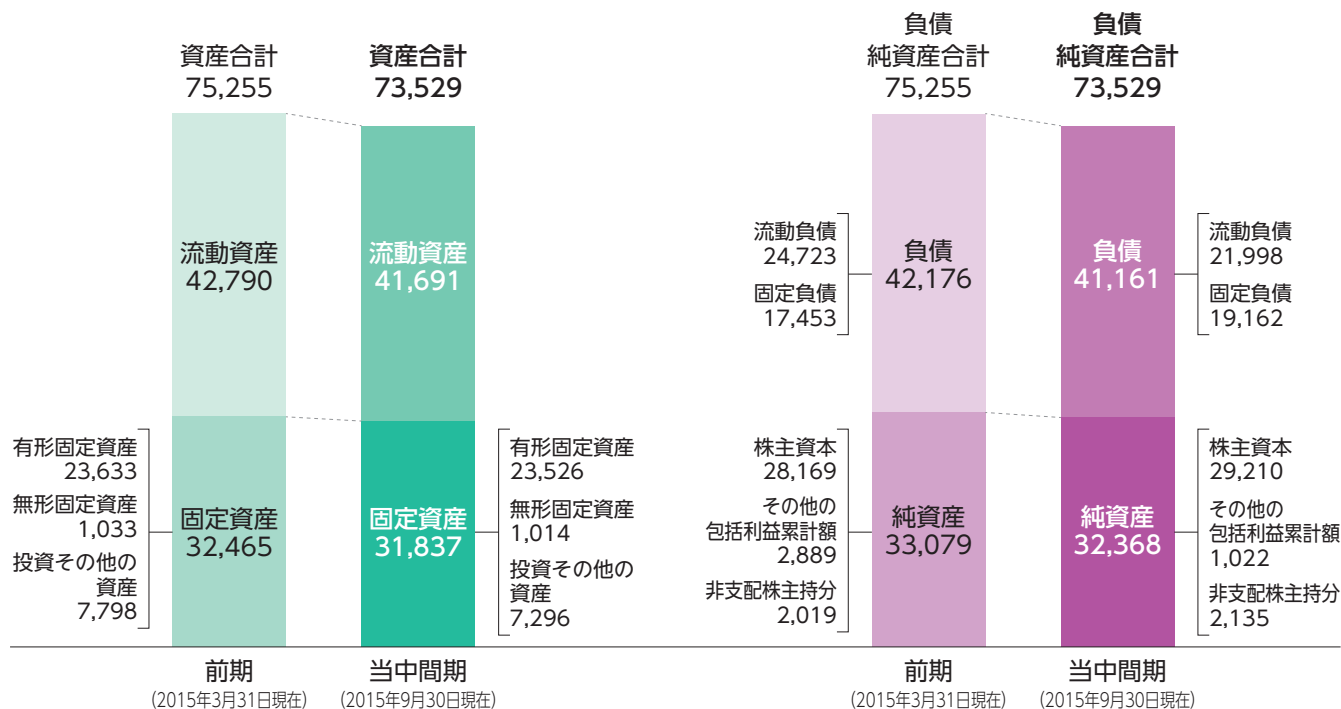
## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表の概要 (単位：百万円未満切捨)

科目	期別	前期 (2015年3月31日現在)	当中間期 (2015年9月30日現在)	科目	期別	前期 (2015年3月31日現在)	当中間期 (2015年9月30日現在)
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産		42,790	41,691	流動負債		24,723	21,998
現金及び預金		5,441	5,240	支払手形及び買掛金		9,971	9,263
受取手形及び売掛金		19,855	19,761	短期借入金		8,932	7,284
商品及び製品		6,922	6,624	1年内返済予定の長期借入金		1,241	844
原材料及び貯蔵品		7,234	6,858	未払法人税等		440	507
その他		3,558	3,422	役員賞与引当金		—	9
貸倒引当金		△222	△216	その他		4,137	4,088
<b>固定資産</b>		<b>32,465</b>	<b>31,837</b>	<b>固定負債</b>		<b>17,453</b>	<b>19,162</b>
有形固定資産		23,633	23,526	長期借入金		12,440	13,977
土地		10,069	9,887	長期預り保証金		802	762
その他		13,564	13,639	役員退職慰労引当金		389	385
無形固定資産		1,033	1,014	資産除去債務		47	47
その他		1,033	1,014	退職給付に係る負債		1,705	1,681
投資その他の資産		7,798	7,296	その他		2,067	2,309
その他		7,820	7,318	<b>負債合計</b>		<b>42,176</b>	<b>41,161</b>
貸倒引当金		△22	△22	<b>純資産の部</b>			
<b>資産合計</b>		<b>75,255</b>	<b>73,529</b>	株主資本		28,169	29,210
				資本金		10,012	10,012
				資本剰余金		9,744	9,744
				利益剰余金		8,474	9,515
				自己株式		△62	△62
				その他の包括利益累計額		2,889	1,022
				- 他有価証券評価差額金		1,497	1,118
				- 為替換算調整勘定		2,034	466
				- 退職給付に係る調整累計額		△642	△562
				非支配株主持分		2,019	2,135
				<b>純資産合計</b>		<b>33,079</b>	<b>32,368</b>
				<b>負債純資産合計</b>		<b>75,255</b>	<b>73,529</b>

注) 企業結合に関する会計基準、連結財務諸表に関する会計基準等を当期から適用し、「少数株主持分」を「非支配株主持分」に変更しております。

(単位：百万円)



### ●流動資産

原材料及び貯蔵品、現金及び預金などの減少によって、前期末より10億9千8百万円減少し、416億9千1百万円となりました。

### ●固定資産

有形固定資産、無形固定資産、投資その他の資産の減少によって、前期末より6億2千7百万円減少し、318億3千7百万円となりました。

### ●負債

長期借入金などの増加があったものの、支払手形及び買掛金、短期借入金などの減少によって、前期末より10億1千5百万円減少し、411億6千1百万円となりました。

### ●純資産

利益剰余金の増加があったものの、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定などの減少によって、前期末より7億1千1百万円減少し、323億6千8百万円となりました。

## 中間連結損益計算書の概要 (単位：百万円未満切捨)

科目	期別 前中間期 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当中間期 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
売上高	40,990	41,373
売上原価	33,622	33,147
売上総利益	7,368	8,226
販売費及び一般管理費	6,572	7,004
営業利益	795	1,222
営業外収益	252	1,192
受取利息	17	24
受取配当金	34	38
不動産賃貸料	64	57
為替差益	—	862
その他	136	209
営業外費用	759	220
支払利息	177	179
為替差損	431	—
その他	150	40
経常利益	288	2,194
税金等調整前四半期純利益	288	2,194
法人税、住民税及び事業税	414	500
法人税等調整額	△1	341
法人税等合計	413	842
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△124	1,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	129
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△124	1,221

### ●売上高

円安の影響、製紙用薬品事業の米国および中国子会社の業績好調により、前中間期から3億8千3百万円増加し、413億7千3百万円となりました。

### ●営業利益

増収効果および売上原価の減少により、前中間期から4億2千6百万円増加し、12億2千2百万円となりました。

### ●営業外収益

為替差益8億6千2百万円の発生などにより、前中間期から9億4千万円増加し、11億9千2百万円となりました。

### ●経常利益

営業外収益が増加したことにより、前中間期から19億5百万円増加し、21億9千4百万円となりました。

### ●親会社株主に帰属する四半期純利益

営業外収益が増加したことに伴う増益効果により、前中間期から14億3千6百万円増加し、12億2千1百万円となりました。

注) 企業結合に関する会計基準、連結財務諸表に関する会計基準等を当期から適用し、「少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)」を「四半期純利益又は四半期純損失 (△)」、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」、「四半期純利益又は四半期純損失 (△)」を「親会社に帰属する四半期純利益又は親会社に帰属する四半期純損失 (△)」に変更しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円未満切捨)

科目	期別 前中間期 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当中間期 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△172	2,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,447	△1,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	401	△1,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	△188	△15
現金及び現金同等物の期首残高	6,630	5,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,222	5,234

### ●キャッシュ・フロー

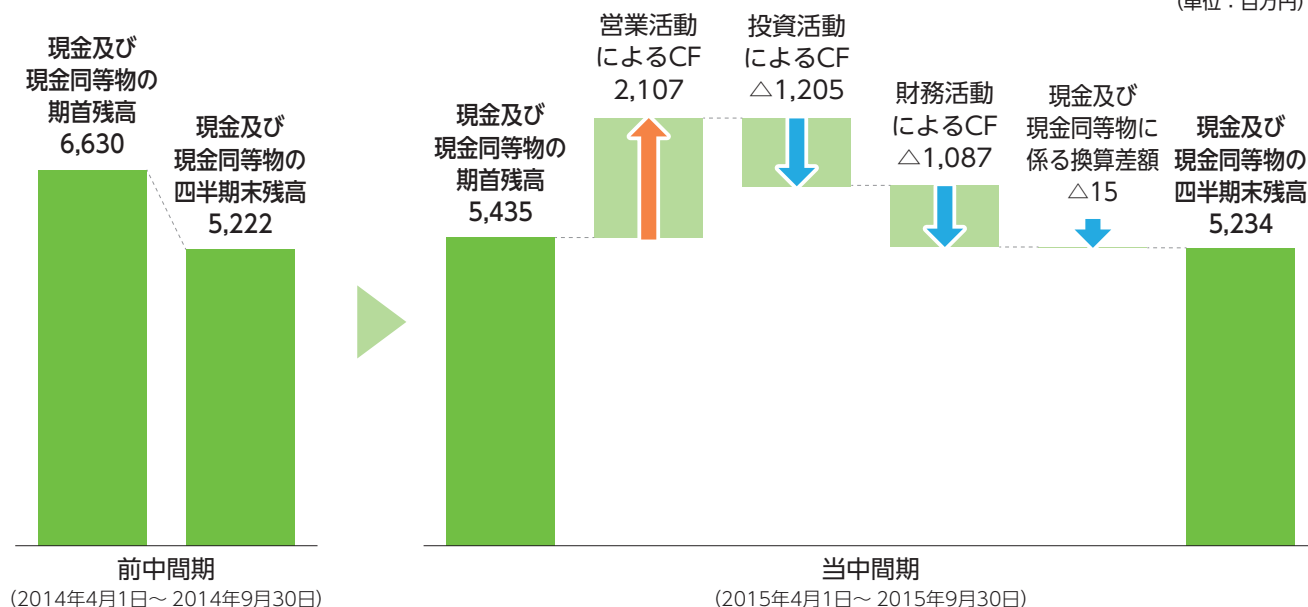
現金及び現金同等物の残高は、当期期首から2億1百万円減少し、52億3千4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは21億7百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費の発生などの増加要因と、為替差益の発生や仕入債務の減少などの減少要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは12億5百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出などの減少要因によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは10億8千7百万円の支出となりました。これは主に、長期借入れによる増加要因と、長期借入金の返済や短期借入金の減少などの減少要因によるものです。

(単位：百万円)



(2014年4月1日～2014年9月30日)

(2015年4月1日～2015年9月30日)

※CF：キャッシュ・フロー

## ■ セグメント別経営成績の概要

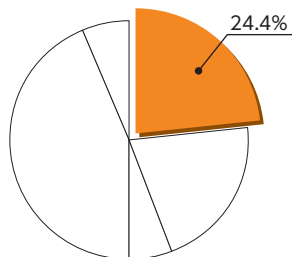
### 樹脂化成品事業カンパニー

- インキ用樹脂は、国内市場の低迷により前中間期に比べ販売数量が減少。
- 塗料用樹脂は、夏季の天候不順により前中間期に比べ販売数量が減少。
- 自動車タイヤ用合成ゴムの製造に使用される乳化剤は好調に推移。
- 機能性塗工剤の新製品は順調に推移。

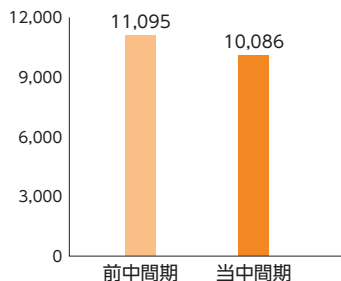
セグメント売上高：100億8千6百万円、前中間期比10億9百万円（△9.1%）の減収

セグメント利益：5億3千8百万円、前中間期比1億1千7百万円（△17.9%）の減益

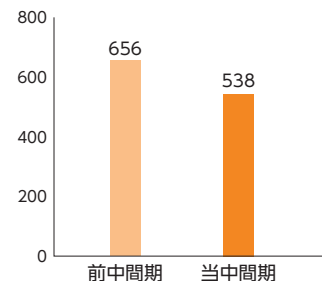
#### ▶ 当中間期セグメント別売上構成比



#### ▶ セグメント売上高推移(百万円)



#### ▶ セグメント利益推移(百万円)



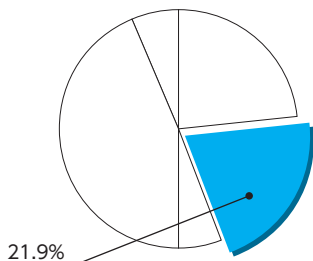
### 製紙用薬品事業カンパニー

- 国内市場の低迷により引き続き厳しい状況。
- 米国、中国は販売が堅調に推移。

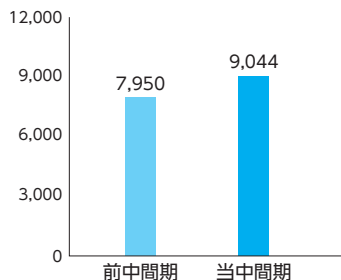
セグメント売上高：90億4千4百万円、前中間期比10億9千4百万円（13.8%）の増収

セグメント利益：8億5百万円、前中間期比3億2千2百万円（66.9%）の増益

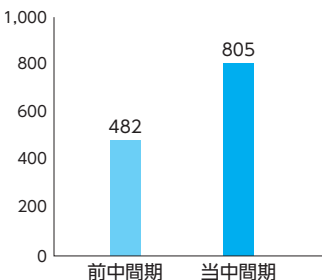
#### ▶ 当中間期セグメント別売上構成比



#### ▶ セグメント売上高推移(百万円)



#### ▶ セグメント利益推移(百万円)

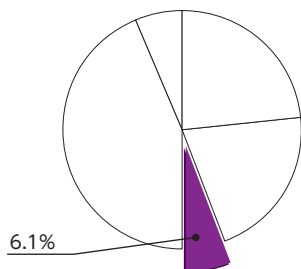




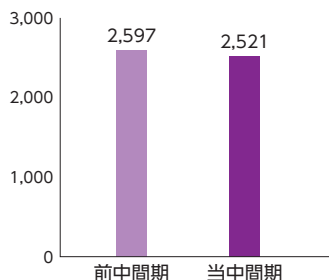
## 電子材料事業カンパニー

- 自動車用熱交換器用のろう付け材料は、堅調に推移。
- ソルダーペーストなどのはんだは、原材料価格低下による販売価格の低下により、前中間期に比べ減少。  
セグメント売上高：25億2千1百万円、前中間期比7千5百万円（△2.9%）の減収  
セグメント利益：2億1百万円、前中間期比1千4百万円（△6.7%）の減益

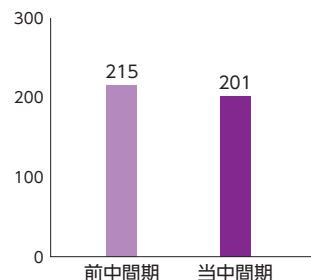
▶ 当中間期セグメント別売上構成比



▶ セグメント売上高推移(百万円)



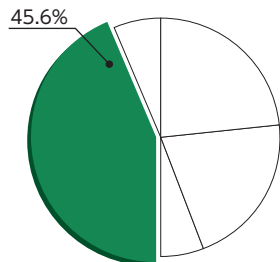
▶ セグメント利益推移(百万円)



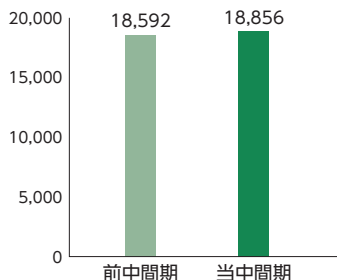
## ローターカンパニー

- 粘接着剤用樹脂は、北米を中心に販売数量が拡大し、堅調に推移。
- 印刷インキ用樹脂は、主力の欧州・北米市場で販売量減となり、非常に厳しい状況。
- 合理化、コスト削減により採算面で、前中間期に比べやや改善。  
セグメント売上高：188億5千6百万円、前中間期比2億6千3百万円（1.4%）の増収  
セグメント損失：2億2千2百万円、前中間期比3千9百万円の改善

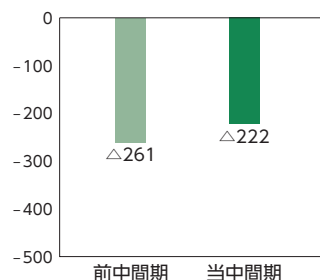
▶ 当中間期セグメント別売上構成比



▶ セグメント売上高推移(百万円)



▶ セグメント損失推移(百万円)

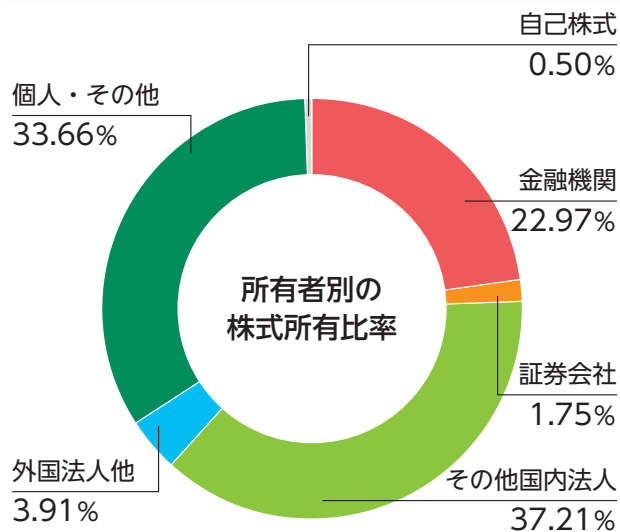


## ■ 株式および株主の状況 (2015年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	59,500,000株
発行済株式の総数 (自己株式131,742株含む)	26,080,396株
株主数	3,135名

### 株式の分布状況



### 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
長谷川興産株式会社	4,558	17.56
長谷川 吉弘	1,738	6.69
株式会社三井住友銀行	1,094	4.21
ハリマ化成共栄会	1,073	4.13
公益財団法人松籟科学技術振興財団	805	3.10
兵庫県信用農業協同組合連合会	728	2.80
株式会社みなと銀行	692	2.66
有限会社松籟	687	2.64
京阪神興業株式会社	672	2.58
株式会社三菱東京UFJ銀行	476	1.83

- 注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式(131,742株)を減じた株式数(25,948,654株)を基準に算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

**設立** 1947年11月18日

**資本金** 100億1,295万円

**東京本社** 東京都中央区日本橋3丁目8番4号

**従業員数** 79名 (連結1,473名)

**グループ社数** 36社

**事業内容** 持株会社としてのグループ経営戦略の策定・推進、樹脂・化成品、製紙用薬品、電子材料事業を主とする各事業会社の経営管理

## 中間配当金のお支払いについて

第74期中間配当金は、同封の「中間配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払い渡しの期間(2015年12月7日から2016年1月8日まで)に最寄りのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受取りください。

なお、振込先をご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

## 取締役

- **代表取締役社長** 長谷川 吉弘
- **常務取締役** 河野 政直  
金城 照夫  
稲葉 正志  
谷中 一朗
- **取締役** 土田 史明
- **監査等委員である取締役** 田中 饒一良(常勤)  
道上 達也(独立社外)  
平松 秀則(独立社外)

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

上場取引所 東京証券取引所  
(証券コード4410)

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行います。  
(<http://www.harima.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪府大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ハリマ化成グループ株式会社

東京本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8-4  
Tel. 03-5205-3080

大阪本社 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4丁目4-7  
Tel. 06-6201-2461



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。また、印刷はアルカリ性液体を出さず、イソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な「水なし印刷方式」を採用しています。

使用されている用紙は、適切に管理された森林からの生産物です。適切に管理された森林とはForest Stewardship Council®（森林管理協議会）の規定に従い、独立した機関により認証された森林を指します。